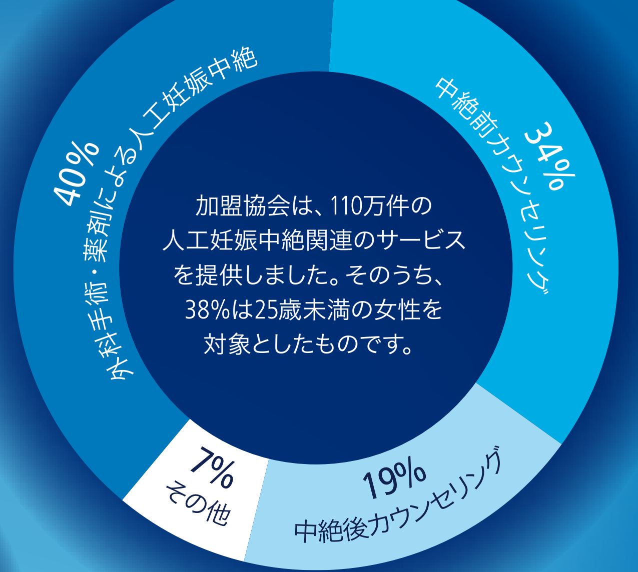
IPPF 選ぶこと、そこから広がる可能性

活動一覧 2008–09

グローバル・インディケーター・データで示す2008年の主要な業績。

国際家族計画連盟(IPPF)は、地球上に住むすべての人のためのセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツの提供者・推進者です。IPPFは、世界に広がる152の加盟協会のネットワークを駆使してコミュニティのために働く3万人以上のスタッフと何百万人ものボランティアに支えられています。



加盟協会は、110万件の人工妊娠中絶関連のサービスを提供しました。そのうち、38%は25歳未満の女性を対象としたものです。

Photo: IPPF/Chloe Hall

57%

の加盟協会が、人工妊娠中絶に関し法律の定めるところや、安全でない人工妊娠中絶活動に関する情報教育コミュニケーション活動を実施しました。

Photo: IPPF/Chloe Hall

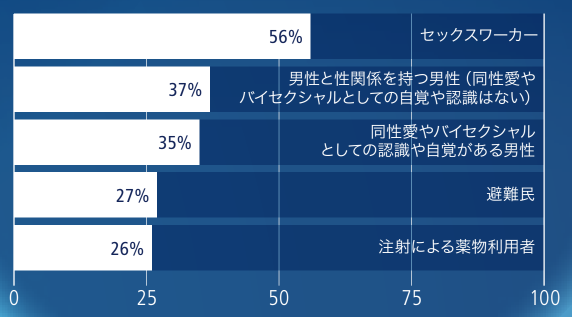
82%

の加盟協会が誤った情報、活動資金の削減、新たなあるいは既存のセクシャル・リプロダクティブ・ヘルスに有害な政策や法律等のセクシャル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツに対する**反対運動への対応**を積極的に行いました。

世界で**1億4千万個**のコンドームを配布しました。

79%

の加盟協会が、HIV感染に特に脆弱な集団に対するサービスや情報を届かせるための戦略を有しています。



割合	集団
56%	セックスワーカー
37%	男性と性関係を持つ男性（同性愛やバイセクシャルとしての自覚や認識はない）
35%	同性愛やバイセクシャルとしての認識や自覚がある男性
27%	避難民
26%	注射による薬物利用者

93%

の加盟協会がジェンダーに焦点を置いた事業を実施しました。

- 83% 女性のエンパワーメント
- 72% 男性のニーズ
- 77% ジェンダーに根ざした暴力
- 86% 女性の参加

人工妊娠中絶
HIVとエイズ
思春期の若者・青少年
アクセス
アドボカシー（政策提言）
2008–09

56%

の加盟協会がHIV/エイズに関する就業方針を策定しています。

Photo: IPPF/Chloe Hall

93%

の加盟協会が性と生殖に関する健康と権利についての国家政策や法律を改善することを目指した政策提言活動を実施しました。

セクシャル・リプロダクティブ・ヘルス・サービスは、IPPFの8000のクリニックと他のコミュニティに根ざしたサービス提供ポイントの何千ものネットワークを通じて、提供されました。

3460万件の避妊関連サービス

3220万件の避妊以外の、性と生殖に関する健康サービス

99%

の加盟協会が若者向けの**サービスへのアクセス**の拡大に関する政策提言活動を行いました。

- 95% 若者のための組織
- 93% メディア
- 86% コミュニティ・宗教指導者
- 46% 法律家や法的団体
- 94% 教師と両親

2000万件を超える性と生殖に関する健康関連サービスが若者を対象として提供されました。

IPPFの 性と生殖に関する健康 サービス利用者の

10人に7人が社会の片隅に追いやられたり、社会から排除され、また/あるいはサービスを十分には受けられない人たちでした。

推定総数は、**3100万人**でした。

780万 CYP*を提供しました

Photo: IPPF/Chloe Hall

78%

の加盟協会が**理事会**に少なくとも1人の若者を含みます。

Photo: IPPF/Chloe Hall

＊カップル年で示される避妊法の供給量 (Couple-year of protection : CYP). ある避妊法の供給が何年分の避妊実行に相当するかを、年数の総計として示す尺度

IPPF 選ぶこと、そこから広がる可能性

活動一覧 2008–09

「IPPFは、性に関する権利という非常に難しい分野においてすばらしく大きな進歩を遂げた。IPPFは規模が大きく、その加盟協会も多岐に渡っているので、関連する議論を洗練させられる立場にある。IPPFは、このコンセプトを人々のために役立たせる上で驚くべき可能性に満ちている」。

IPPF 支援者

「15+カウンティング」キャンペーン

15年前、世界中の政府が性と生殖に関する健康関連サービス・情報・教育を全ての若者に届けることを約束しました。「15+カウンティング」キャンペーンは、若者が一団となって政府に2015年までに全ての若者のためのこの約束を果たすべく行動を起こすよう迫るものです。

以下のウェブサイトから署名にご協力下さい。
www.15andcounting.org

フランス家族計画協会(MFPF)

フランスの加盟協会のはたらきかけにより、病院だけでなく、家族計画センターでも、薬剤による人工妊娠中絶を施せるように法律が変更されました。その結果、人工妊娠中絶サービスへのアクセスが拡大されました。

スペイン家族計画協会(FPFE)

スペインの加盟協会がはたらきかけた結果、人工妊娠中絶法が改正され、レイプの結果であること、女性の健康を害する恐れがあること、胎児に損傷が見られることという人工妊娠中絶を限定する条件が取り除かれました。

ベリーズ家族計画協会(BFLA)

ベリーズの加盟協会は、ジェンダーに根ざした暴力予防委員会のメンバーです。ベリーズ政府が家庭内暴力に対する刑罰を重くする「家庭内暴力法案の施行」を承認したのは、この委員会のはたらきかけによるところが大きいといわれています。

セント・ルシア家族計画協会(SLPPA)

セント・ルシアの加盟協会は、緊急避妊の実施方法を変え、処方箋がなくても、全ての薬局やソーシャル・マーケティング拠点で入手できるようにはたらきかけました。それ以前には、病院の救急課でしか入手できず、アクセスが難しかったのです。

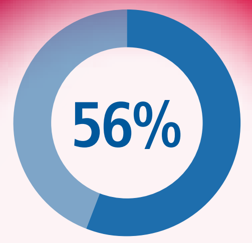
トゴ家族計画協会(ATBEF)

トゴの加盟協会は、HIVと共に生きる人々のための国家事業の策定に参画し、政府とともに抗レトロウイルス薬の提供に関する政策の見直しを行いました。2008年10月、トゴ政府は、HIVと共に生きる人々全てに抗レトロウイルス薬を無料で配布することを発表しました。

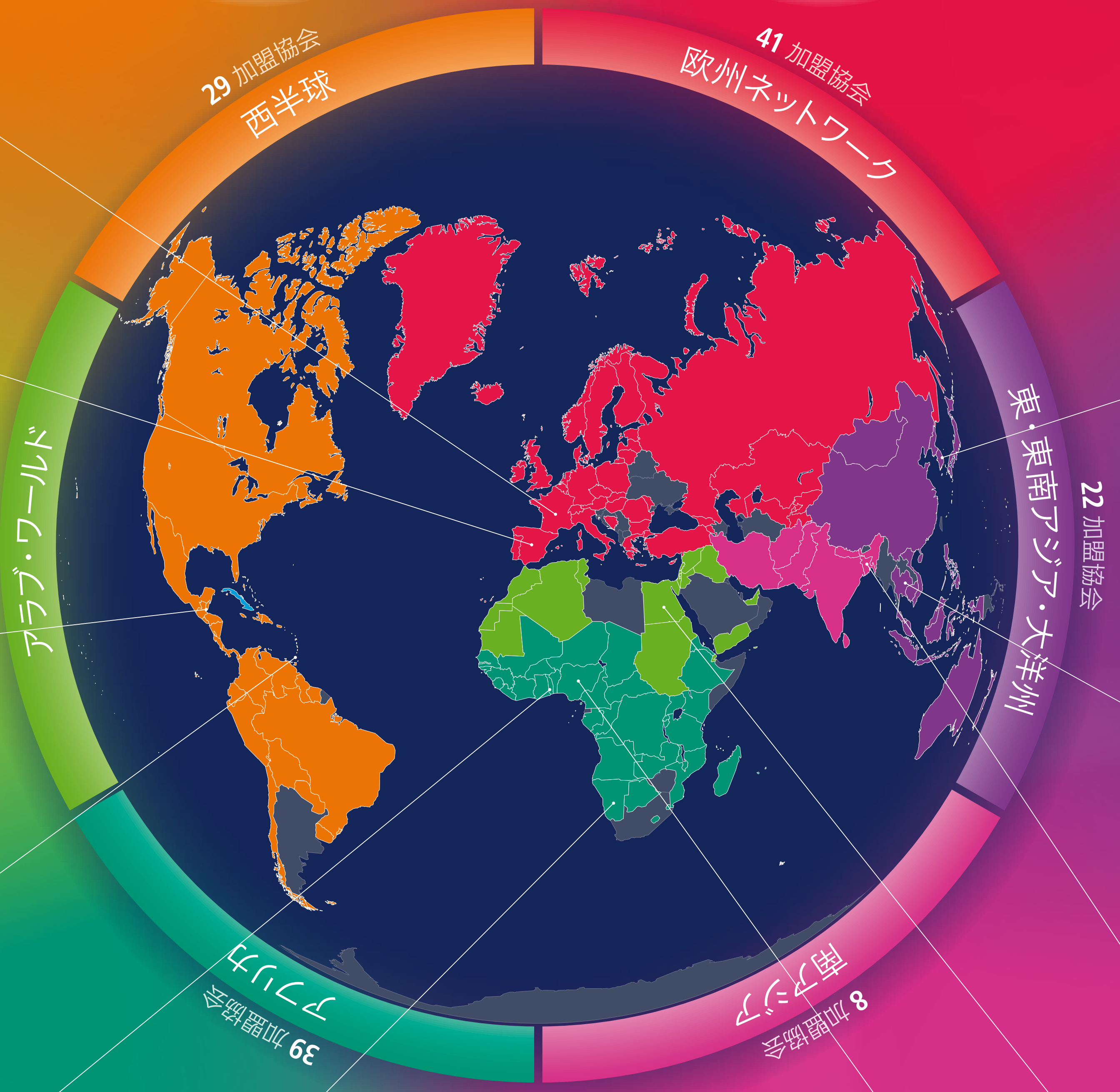
ナミビア家族計画協会(NAPPA)

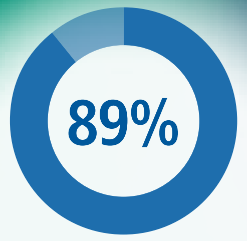
ナミビアでは、加盟協会が、包括的性教育を促進するリプロダクティブヘルスに関する新たな国家政策の策定について政策提言を行い、実際に策定プロセスにも参加しました。

IPPFの総収入は、過去5年間に
23,580万米ドルから
32,450万米ドルへと
38%も増大しました。

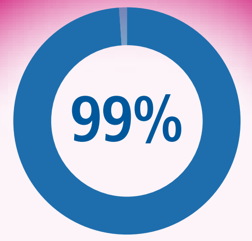


の加盟協会の理事会メンバーは国、地域、世界レベルを合計すると女性です。





のIPPFファンドが、セクシャル・リプロダクティブ・ヘルスに関するニーズの高い諸国で活用されています。



の加盟協会が2008年末までにアクレディテーション（加盟協会認定審査）を受けました。

性に関する権利：IPPF宣言

性が自然で大切な生活の一局面であり、人間性の欠くことのできない根本的な部分をなすことから、IPPFは、この宣言を通じて、性に関する権利が確実に尊重されるようはたらきかけています。このIPPFの性に関する権利宣言によって、性と生殖に関する健康と人権関連活動を行う人々は、2015年に開催予定の次の国際人口開発会議に向けた準備段階で、性に関する権利をめぐる好ましい変化を引き起こせるようになるでしょう。

韓国家族計画協会(PPFK)

韓国では、職場で授乳できる場所が限られていることから、働く母親のほとんどは、3ヶ月の産休が明けると母乳で子供を育てることをあきらめるか、トイレで授・搾乳していました。韓国家族計画協会は、他組織と協力し、この状況を改善するよう政策提言活動を行いました。その結果、雇用者に職場で適切な授乳室を提供することを義務付ける法律を制定しました。

タイ家族計画協会(PPAT)

タイの加盟協会は、国家保健委員会に招かれ、教育省や学校のみならず、他の省庁や非政府組織(NGO)も学校で包括的性教育を行うことを迫るよう決議1/10の修正に参画しました。

バングラデシュ家族計画協会(FPAB)

バングラデシュ家族計画協会の政府へのはたらきかけが実り、国家必須薬品リストの中に経口避妊薬とコンドームが含められることとなりました

エジプト家族計画協会(EFPA)

エジプトの加盟協会のはたらきかけにより、2008年、女性性器切除(FGM)と18歳未満の少女の結婚を禁じる法律が可決されました。

ナイジェリア家族計画協会(PPFN)

ナイジェリア家族計画協会は、産前ケアの無料提供に関する政策提言を行いました。その結果、同国の4州では、全ての公立の病院と診療所が産前ケアを無料で受けられるようになりました。

International Planned Parenthood Federation, 4 Newhams Row, London, SE1 3UZ, United Kingdom **tel** +44 (0)20 7939 8200 **fax** +44 (0)20 7939 8300 **web** www.ippf.org **email** info@ippf.org **UK Registered charity number:** 229476